

**舟着  
コミュニティ  
計画**

# 絆

～セカンドシーズン～



**舟着の今と未来**

# 目次

---

## はじめに 舟着の今と未来

明るさとやさしさを絆を結ぶ舟着の郷 ～セカンドシーズン～ …… 1

## ① 舟着の現状から…10年後を見る …… 2

- ・ 人口の推移
- ・ 「少子・高齢化問題」から「過疎問題」へ
- ・ Sバスの状況とその他の交通
- ・ 空き家問題

## ② 今必要と感じている取り組みや考えを知る …… 4

舟着住民意識調査

## ③ 舟着コミュニティ計画に沿った課題と理想の姿を見る …… 6

- ・ やさしさの安心安全な地域づくり
- ・ 住みよい地域づくり
- ・ 心穏やかな地域づくり
- ・ 心と体の健康づくり

## ④ 未来につなげたい舟着のよさを知る …… 15

- ・ 自然の豊かさ ～山編～
- ・ 自然の豊かさ ～花編～
- ・ 自然の豊かさ ～その他編～
- ・ 誇れる歴史・伝統・文化
- ・ 地域のつながり

## ⑤ 課題の解決方法や考え、魅力の継続維持や発展 …… 18

10年後の舟着のために



## 明るさとやさしさで絆を結ぶ舟着の郷 ～セカンドシーズン～

第1次舟着コミュニティ計画『絆』の作成から10年が経ちました。

『明るさとやさしさで絆を結ぶ舟着の郷』をキャッチフレーズに、

1. やさしさの安全安心な地域づくり
2. 住みよい地域づくり
3. 心穏やかな地域づくり
4. 心と体の健康づくり

という『**4つの柱**』を設定し、この柱を軸にしていくつも事業が生まれました。

その中のひとつ、『茶話会事業』では、舟着の皆さんが意見を出し合い、一緒に考えながら、「必要とする取り組みは何なのか?」、「誰がどのようなことをやっていくべきなのか?」などの話ができるようになるまで進んでいます。

そして、次のステップとなる『第2次舟着コミュニティ計画』では、この先10年を『舟着の今と未来』として、第1次計画の10年で必要と感じられた取り組み、その進む道を『課題と理想』として表すことで、舟着にとって「課題解決の道」をより明確にしました。

また、「舟着の郷」の素晴らしい魅力についても、どのような形で継承していくのかを示した計画にもなっています。

住民意識調査を実施することで、より多くの皆さんの意見がこの計画に反映され、舟着に必要な地域支援策・事業を明確に記すことができました。

この『第2次舟着コミュニティ計画』を進めていくには、

### 『舟着を想いやる気持ち』

が、とても大事になってきます。

この計画を基に様々な取組みを進めることで、今まで意識されていた「行政区」や「組」などという“枠組み(隔たり)”もなくなり、

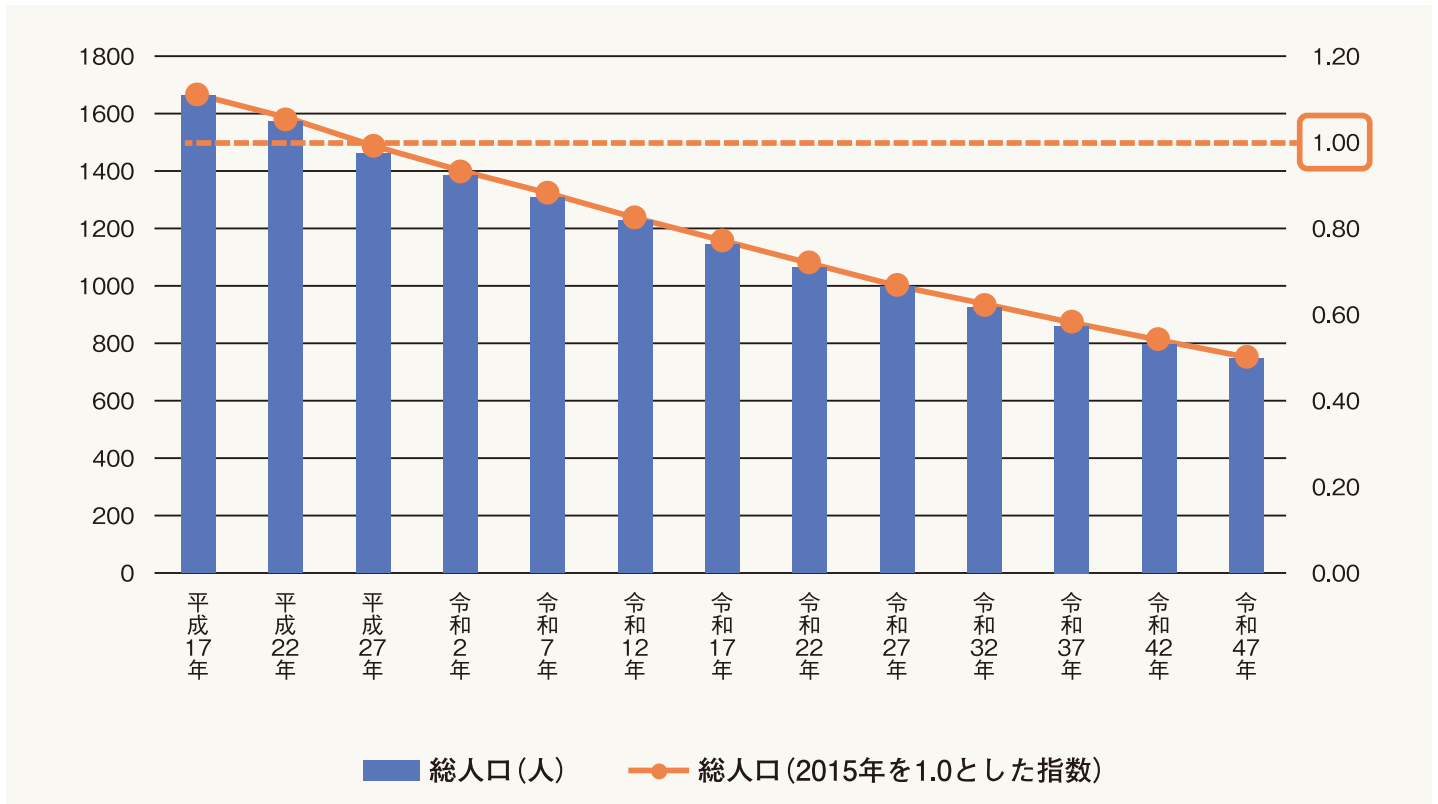
**純粹に“人と人とのつながり”、“自然や動物との共存”、  
“オール舟着(舟着に住む赤ちゃんからお年寄りまでみんな)で絆を結ぶ郷”、  
そんな舟着(未来)を見えています。**

舟着コミュニティ計画策定委員会

# ① 舟着の現状から…10年後を見る

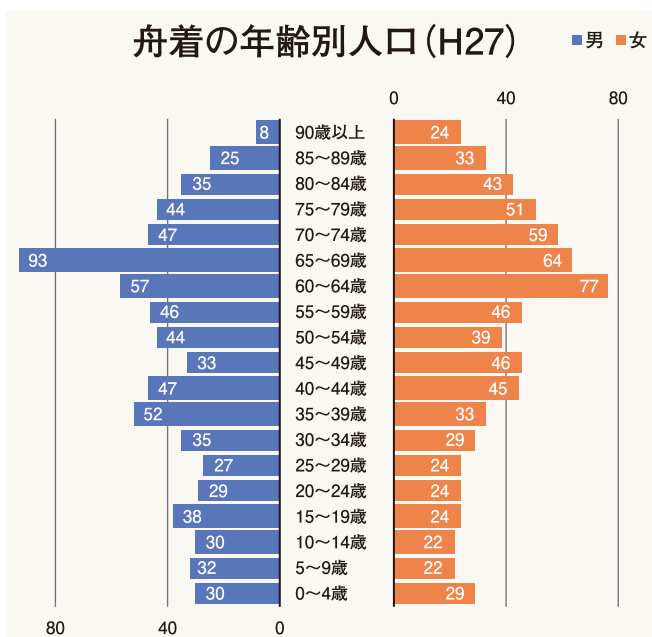
## 人口の推移

平成27年を基準にすると、舟着では10年毎に1割程度(約170人)減少し続ける。

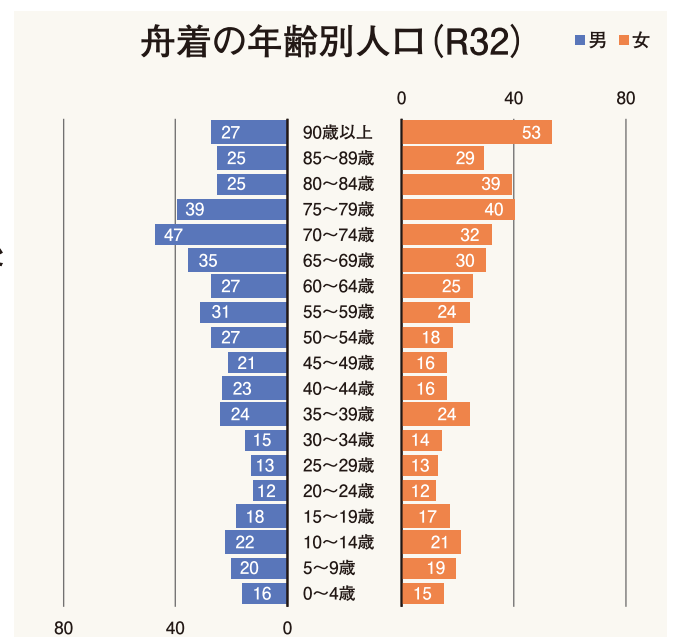


## 「少子・高齢化問題」から「過疎問題」へ

人口ピラミッドは高齢化を示す「頭でっかち」から全体的にスリム化(人口減少)へ。



35年後



## Sバスの状況とその他の交通

もし、自家用車が乗れなくなったら…。

歩いて用が足せますか？ バスは自家用車の代わりになりますか？

Sバス吉川市川線 1乗車200円

運行日:月曜～金曜(土曜、日曜、祝日、振替休日及び12/29～1/3は運休。)

新城市民病院▶吉川上▶市川▶新城市民病院

2020年10月1日現在



バス停	1便	2便	3便	4便	バス停	1便	2便	3便	4便
新城市民病院		11:46	14:55	16:00	吉川上	7:48	12:07	15:16	16:21
新城栄町・新城駅口		11:47	14:56	16:01	吉川	7:49	12:08	15:17	16:22
中町		11:48	14:57	16:02	宮前	7:50	12:09	15:18	16:23
新城市役所		11:49	14:58	16:03	吉川下	7:51	12:10	15:19	16:24
新城中学校		11:50	14:59	16:04	百田	7:53	12:12	15:21	16:26
新城保健所		11:51	15:00	16:05	宮の腰	7:55	12:13	15:22	16:28
弁天住宅	7:35	11:52	15:01	16:06	鳥原	7:56	12:14	15:23	16:29
弁天橋	7:37	11:53	15:02	16:07	舟着小学校前	7:58	12:16	15:25	16:31
日吉	7:38	11:54	15:03	16:08	中具津	7:59	12:17	15:26	16:32
舟着小学校前	7:39	11:55	15:04	16:09	塩沢	8:01	12:18	15:27	16:34
鳥原	7:40	11:57	15:06	16:11	市川口	8:05	12:23	15:32	16:39
宮の腰	7:41	11:58	15:07	16:12	市川	8:09	12:28	15:37	16:44
百田	7:42	11:59	15:08	16:13	市川	8:09	12:28	15:37	16:44
吉川下	7:43	12:01	15:10	16:15	市川口	8:11	12:31	15:40	16:47
宮前	7:44	12:02	15:11	16:16	塩沢	8:16	12:36	15:45	16:52
吉川	7:45	12:03	15:12	16:17	中具津	8:18	12:37	15:46	16:54
吉川上	7:48	12:07	15:16	16:21	舟着小学校前	8:20	12:38	15:47	16:55
					日吉	8:21	12:39	15:48	16:56
					弁天橋	8:22	12:40	15:49	16:57
					弁天住宅	8:23	12:41	15:50	16:58
					新城保健所	8:24	12:42	15:51	16:59
					新城中学校	8:25	12:43	15:52	17:00
					新城市役所	8:26	12:44	15:53	17:01
					中町	8:27	12:45	15:54	17:02
					新城栄町・新城駅口	8:28	12:46	15:55	17:03
					新城市民病院	8:31	12:49	15:58	17:06

折り返し地点

- 便数が少ない
- 時間が合わない
- バスの通る道まで出ないといけない
- 目的地が限られている

## 空き家問題

誰も管理しなくなった建物が、倒壊などで近隣に被害をもたらす、防犯上、景観上、危険因子となります。

仏壇を置いたまま、お墓がこちらにあるから等を理由に貸し出しに消極的なことも。

子どもたちが近くに家を建てようにも宅地が限られていて建てられない…。

新規就農などで舟着に移住、定住したくても家がない…。

○ 空き家(平成25年度答申)

	居住可能	修繕必要	取り壊し	計
市川	4	1	2	7
塩沢	6	6	1	13
鳥原	3	2	3	8
吉川	2	9	10	21
全体	15	18	16	49



## ② 今必要と感じている取り組みや考えを知る

### 舟着住民意識調査

舟着地区にはどんな取り組みが必要  
だと思いますか(複数回答)

必要な取り組み	記述数
交通手段確保	21
草刈り代行	20
定住移住者増加策	20
買い物支援	20
獣害対策	15
防犯対策	11
お祭り・イベント	9
消防団支援	9
ゴミ出し手伝い	5
お役簡素化等	4
その他	25

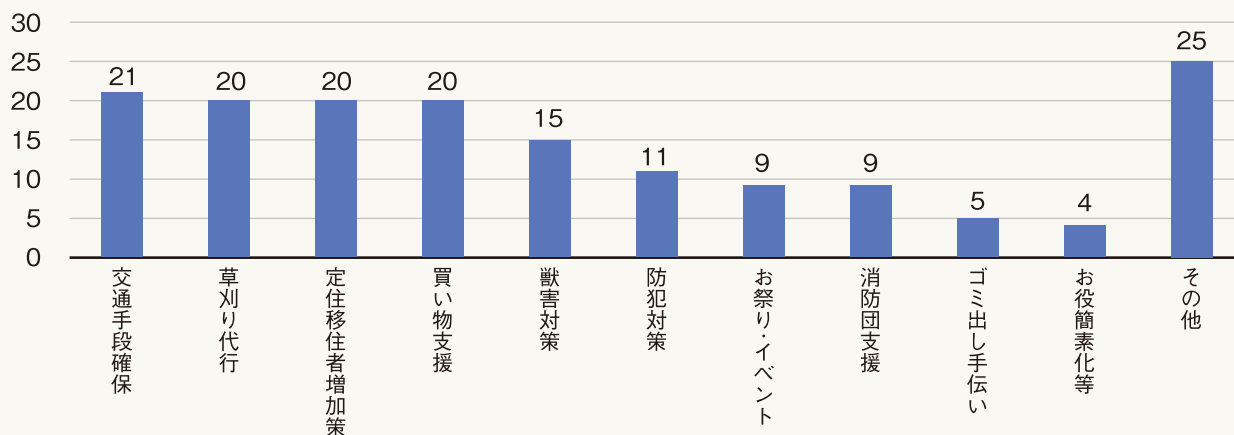
日常生活に支障をきたすことになったら  
地域の人に何をしてほしいか(複数回答)

支援	記述数
草刈り(手入れ含む)	39
お役代行(免除含む)	20
ゴミ出し	19
買い物代行	9
買い物・病院送迎	6
声かけ	5
その他	10

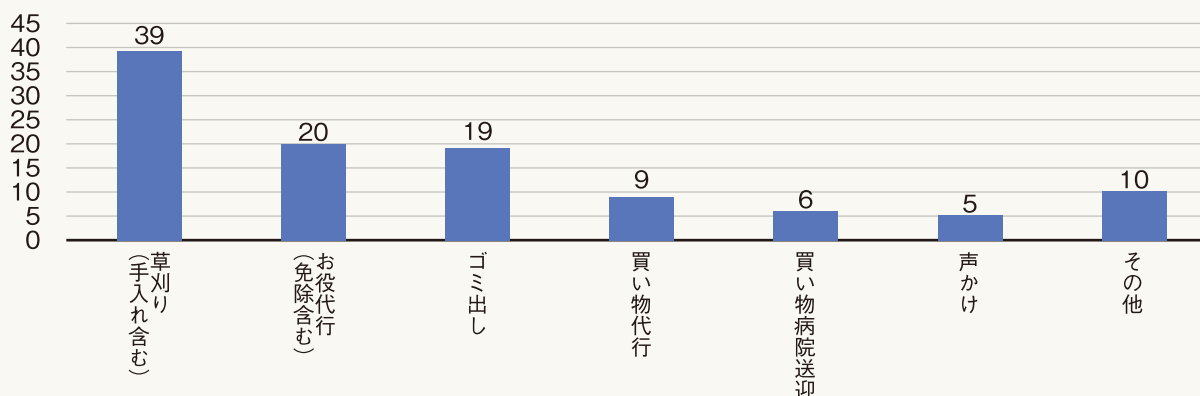
調査日：令和3年1月実施

調査対象：舟着の住民300名を無作為抽出

舟着に必要な取り組み

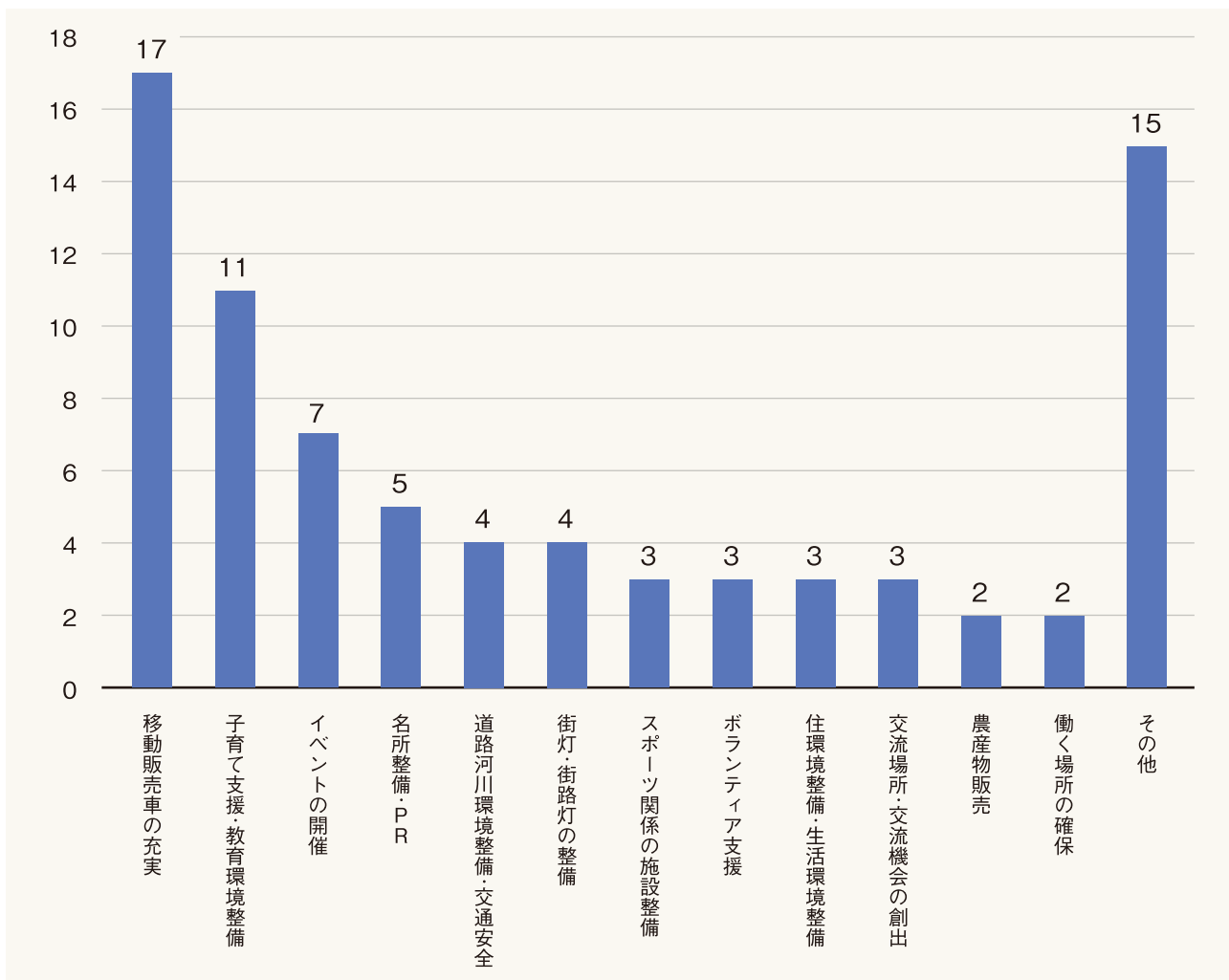


地域の人に望む支援



### 舟着に必要と考える事業

提案内容	回答数
移動販売車の充実	17
子育て支援・教育環境整備	11
イベントの開催	7
名所整備・PR	5
道路河川環境整備・交通安全	4
街灯・街路灯の整備	4
スポーツ関係の施設整備	3
ボランティア支援	3
住環境整備・生活環境整備	3
交流場所・交流機会の創出	3
農産物販売	2
働く場所の確保	2
その他	15



### ③ 舟着コミュニティ計画に沿った課題と理想の姿を見る

#### やさしさの安心安全な地域づくり

##### ● 獣害対策

##### 課題

転出超過・高齢化 → 耕作放棄地増加 → 動物の隠れ場所増加  
→ 農地・農作物が荒らされる → 耕作放棄へ…  
(イノシシやシカ、サルにとって住みやすい=人にとって住みにくい)



##### 理想の姿

- 「耕作したいけど農地がない」という若者が舟着を目指して来ています。
- 休耕農地の草刈りなどの管理は地域で対応できるようになりました。
- イノシシやシカ、サルは山奥へと帰って行きました。

##### ● 防犯対策

##### 課題



- ① 子どもは巣立って街場で生活 → ひとり暮らしやお年寄りだけの世帯が増加
  - ② 共働き世帯増加 → 平日昼間の人口が減少  
= ① + ② = 空き巣、詐欺など犯罪の危険
- 少子化 → 児童数減少 → 小さな集団で登校 → 交通事故の危険

##### 理想の姿

- 「頼れるのは家族だけじゃない」舟着の郷が実現しています。
- 地域の中でお互いに見守り、見守られる関係が築けています。
- 舟着なら、子どもだけでもお留守番でき、共働き世帯も安心です。

##### ● 消防団支援

##### 課題

地域から若者が離れる + 若者と地域とのつながりが薄くなっている  
→ 新入団員なし → 現役団員の高齢化、減少 → 消防活動が絞られてくる → 地域の防災力低下



##### 理想の姿

- 消防団の在り方を正しく理解して、消防団員になることを「負担」、「お役」と感じなくなってきました。
- さらに消防団を理解してもらえるような啓蒙運動、勧誘活動支援の体制もバッチリです。
- 現役消防団員の負担も軽くなってきました。



## ● 消防水利整備



### 課題

舟着は山里 → 急峻な地形が多い → 消防水利が容易に確保できない  
→ 自然水利も限られる → 防火水槽が古く整備が必要

### 理想の姿

- 防火水槽を計画的に整備したことで、火災に対する備えが向上しました。
- 住民の防火意識の向上にもつながっています。

## ● 道路河川交通安全

### 課題

舟着は山里 → 急峻な地形が多い →  
山川に隣接している道路が多い + 狭い道路、未改修の河川が多い  
→ 崩土や崖崩れなど災害による通行困難の危険性が高い → 計画的な整備が必要



### 理想の姿

- マップを作って危険箇所を認識するようになりました。
- 通行時に注意を払うようになっています。
- 計画的に危険箇所を整備しているので地域内の安全性が高まっています。

## ● 空き家対策



### 課題

子どもは巣立って街場で生活 → 高齢者だけの世帯 → 世代のリレーが続かない → 空き家、空き地ができる → 誰かに貸すこともなく利用・管理されない  
→ 放置状態の空き家 → 災害、防犯の視点などから安全安心とは言えない

### 理想の姿

- 転入希望者へ呼び掛けて空き家の利用が進む仕組みを事業化しました。
- 仕組みができたことで舟着の空き家が適正に管理されています。
- 壊れそうな空き家も解体され、危険な空き家が減りました。

## ● AED普及推進

### 課題

過疎化が進む + 医療機関から遠い → 見守る人が少ない → 心臓発作など突発的な対応に困る → 少ない人でも助けられるように



### 理想の姿

- 集会所などにAEDが設置されています。
- AEDはメンテナンスも行き届き、いつでも安全に使える状態です。
- 使い方講習のおかげでAEDの取り扱いにも困りません。

## 住みよい地域づくり

### ● 居住地、地域の関わり

#### 課題

あいさつ程度の会話しかしない→地域の人と関わる機会が「お役」程度で少ない  
→仕事や家庭が忙しい+出席したい(しなければならない)行事がない  
→ご近所と親密になる機会が少ない→ひとり暮らしになり不安が大きくなった



#### 理想の姿

- 参加しやすい(参加したくなる)イベントが開催されています。
- 「舟着の人」はほとんどが知り合いです。
- 隣近所の助け合いだけでなく、地域全体でのつながりが強くなって、ひとり暮らしのお年寄りも不安が小さくなりました。

### ● 高齢者支援、高齢化対策

#### 課題

免許証返納→買い物や通院、外出に困る  
跡継ぎがない(日中は近くに誰もいない)→老老介護など不安が大きい  
若い家族がない→お役や農地の草刈りなどが困難で負担



#### 理想の姿

- 「ご近所サポート事業」で地域内の支え合いができるようになっています。
- 公共交通が使いやすく改善され、買い物や通院などお出掛けができます。
- 移動販売車が充実して、定期的買い物を楽しんでいます。

### ● 文化継承、産業振興

#### 課題

伝承のための取り組み(資料保存等)ができてない  
→「これが舟着の伝統文化」というものが認知されていない少子化による担い手不足も深刻→継承されない懸念がある



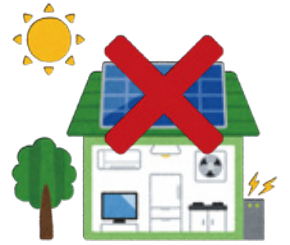
#### 理想の姿

- 地域の伝統文化が保有する資料や文献が整理されました。
- 地域住民に正しく伝えられ、伝承への理解が深まっています。
- 若い世代にも浸透し、少人数ながら伝承が続いています。

## ● 自然環境保全

### 課題

山林管理に必要な林道の損壊+高齢化により山林手入を担う人材の不足  
→ 山林の管理が行き届いていない  
住宅地付近に太陽光発電が増加 → 景観を損ねる、作物の育成への影響が心配



### 理想の姿

- 林道が整備され、広範囲で所有者が協力し、公的な支援を得た間伐なども計画的に進められています。
- 住宅地付近の農地が適切に利用され、太陽光発電施設などの施設も抑制されています。

## ● 草刈り代行

### 課題

生活道路の安全確保+空地、休耕地など土地の維持管理のため草刈り実施  
→ 高齢化により負担  
若年層の草刈り技術の未取得+地域奉仕作業の参加減少 → 草が伸び放題



### 理想の姿

- 草刈り代行制度ができ、通行に支障を及ぼすような伸び放題の草はなくなりました。
- 請け負う側も、依頼者や地域からの報酬でやりがいに繋がっています。

## ● 定住移住支援

### 課題

交通手段が十分に確保できない+地域内に生活必需品を買う店舗が無い  
→ 居住地としての魅力が少ない  
空き家が増加 → 活用されず



### 理想の姿

- 「ご近所サポート事業」が充実し、安心・安全な地域づくりが進んだことで移住・定住者が増えています。
- 空き家活用の仕組みが整い、PRの効果で移住者が増加しています。
- 地域に適した農産物で若い農業者が中心となり舟着ブランドができました。

## ● 交通手段確保

### 課題

公共交通=豊鉄バス路線のみ運行 → 1路線で広範囲カバー  
→ 目的地までに時間がかかる+バス停までが遠い → 利用が進まず



### 理想の姿

- 既存のバス路線を地域で使いやすく見直し、買い物・通院などに利用する住民が増えました。
- ボランティア運転手の制度が立ち上がり、高齢者の移動手段が増えました。



### ③ 舟着コミュニティ計画に沿った課題と理想の姿を見る

#### ● 「お役」簡素化



#### 課題

生活道路を含めた環境整備＋共有財産の維持管理 → 「お役」が必要  
高齢化＋生活様式・生活意識の変化 → 「お役」参加困難  
→ 生活に直結しない「お役」＝負担と感じる人多数

#### 理想の姿

- 「お役」で整備する意義の再検討が行われました。
- 高齢者世帯や子育て世帯への配慮、出不足金の明確化など参加方法の見直しが行われました。
- 必要な「お役」が整理され、出役負担も納得できるようになりました。

#### ● 施設整備

#### 課題

放課後に安心して遊べる場所がない → 共同利用施設の整備、改善が必要 → 地域内に利用されていない施設を生かしていない



#### 理想の姿

- 施設を統廃合しました。
- 残った施設は適正な修繕が行われ快適に利用できています。
- 空き地が整備されて安全に遊べる空間となりました。

#### ● 住環境整備

#### 課題

過疎化が進む → 空き家が増えた → 管理ができていない → 地域の魅力低下  
若者が減少 → 家を建てられる土地が少ない → 移住希望者に提供できていない  
野焼き → 住環境の悪化

#### 理想の姿

- 空き家を活用する仕組みなどで、この地域に住み続ける若者や、田舎暮らしを望む若者の転入が増えました。
- 放置される空き家も減少し、地域の魅力も回復しています。
- 野焼きはルール化され、住環境は良好に保たれています。



## ● 農産物販売

### 課題

柿や巨峰、イチゴ、イチジク、キウイなど果物が多い → 個々の取り組み  
→ 地域で販売したり宣伝することがない → もっとうまくやれるはず



### 理想の姿

- 地域内に新規就農を始める若者が移住しました。
- 品質も向上し収穫量も確保できるようになりました。
- 地域内での販売所なども設置され、出品する農家の収入も増えてきました。

## ● 働く場所創出

### 課題

定年後、時間ができた → 地域活動の意欲もある → 情報が少ない  
→ 仕組みがない → 時間、意欲が生かし切れない



### 理想の姿

- 健康で時間に余裕がある方が、地域のために働く仕組みができあがりました。
- 自身の技能を生かして活躍する場ができています。
- 単にボランティアとしてではなく、一定の収益が得られ、生きがいとなっています。

## ● 茶話会の開催

### 課題

生活上の困りごとがある → 地域で共有できていない → 思いを伝えられない  
→ 望む方向とは異なる取り組みが進められる。 → 仕方なく我慢する

### 理想の姿

- 定期的に「茶話会」が開催され、気軽に情報共有する場があります。
- 地域内の課題や取り組んでいる事業などが把握できています。
- 地域活動の協力者も増えてきました。
- 身近な困りごとの解決をみんなで話し合っ地域の予算が有効に使われるようになりました。



### ③ 舟着コミュニティ計画に沿った課題と理想の姿を見る

#### ● 出会いの場創出



#### 課題

社会全体で未婚化率上昇→昭和時代のように結婚相手を紹介する風潮がない  
→若者が将来の伴侶と巡り会える機会がない→結婚できない  
→転出増加、人口減少→過疎化が進む

#### 理想の姿

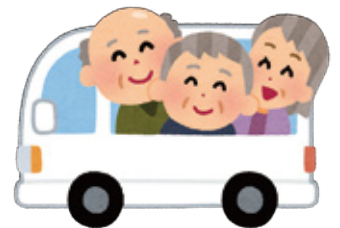
- 「舟コン」をきっかけに参加者が結婚相手と巡り会えています。
- 結婚した夫婦が舟着で生活をはじめ、子宝にも恵まれました。
- 地域に子どもの笑顔が溢れています。

## 心穏やかな地域づくり

#### ● ご近所のサポート

#### 課題

地域内にお店がない+車の運転ができない→買い物が不便  
一人暮らしのお年寄り=生活するうえで何かしら援助がほしい  
小さな子どもがいるママ→アドバイス、サポートがほしい



#### 理想の姿

- 「ご近所サポート事業」が軌道にのり、気軽に買い物を頼めるようになりました。
- 店舗までの送迎も依頼でき、品物を手にとって購入できるようになりました。
- 何でも屋さんが地元にある感じで何かと助かっています。

#### ● ゴミ出し支援

#### 課題

ゴミの集積場所が遠い+身体的理由でゴミ出しできない+資源回収も負担  
→移動手段をもたない住民にとっては生活しにくい



#### 理想の姿

- ゴミ集積場所を見直し散乱防止などの整備を行いました。
- 野鳥に荒らされることもなく、搬入もしやすくなりました。
- 「ご近所サポート事業」が軌道にのり、手助けしてもらえています。



## ● 移動販売車の充実

### 課題

歩いて行けるお店がない → 移動手段を持たないと不便  
移動販売車 → 充実するには経費面での検討も必要



### 理想の姿

- 地域内で移動販売を統括する「核」ができました。
- 効率的なルート設定や、商品の充実にも力をいれています。
- 必要とするところへ定期的に商品を届けられています。
- 移動販売車の利用を楽しみ、利用者同士の井戸端会議も楽しみのひとつです。

## ● 心豊かな子どもの育成

### 課題



舟着で子育て → 心豊かな子に育てほしい → 身近に良い本を  
＝経費が掛かる＋短期間ではできない → 良い本に巡り会う機会がない  
→ 読書離れが進む

### 理想の姿

- 小学校の図書館に地域から寄贈された本のスペースが確保されました。
- 子どもの知識を伸ばす本、想像力を高める本などが徐々に充実してきました。
- 本に興味を持つ子どもが増え、心が豊かな子に育っています。

## ● ボランティア活動支援

### 課題

ボランティアに興味あり＋ボランティアに意欲あり  
→ 地域内のボランティアニーズが整理できていない。＋統括する組織もない  
→ 興味・意欲のある人に活躍の場を提供できていない



### 理想の姿

- 地域の中に人材センターができました。
- ボランティアを担う人と利用したい人のマッチングが可能となっています。
- ボランティアの種別ごとに明瞭な料金が設定され、利用する人も気軽に依頼できます。
- ボランティア収入がやる気、生きがいにつながって人材センターの登録者数も増えています。

## 心と体の健康づくり

### ● お祭り存続



#### 課題

数々の伝統行事や祭礼が地域の魅力 → 高齢化+若者の意識変化+催事の負担感 → 人手不足=後継者不足 → 伝承に不安

#### 理想の姿

- 伝統行事や祭礼について、若者を含めた地域全体で正しく認識、共有できるようになりました。
- 多くの方が負担のない範囲で参加するようになりました。
- 人手が足りない中での催しを工夫し改善された内容で続けられています。

### ● ふれあいイベント開催

#### 課題

東体振がなくなった → 地区対抗運動会などができなくなった  
= 地区、地区外の人でも参加できるふれあいイベントが開催できていない  
→ 疎遠な感じが当然のようになってきている



#### 理想の姿

- 健康増進やコミュニケーション向上のためのイベントが開催されています。
- 参加意欲のある住民が増えています。
- 運動に限らず趣味の集いや健康向上に役立つ講座などが運営されています。

### ● 交流場所、交流機会創出

#### 課題

住民同士が関わる機会が減少 → 近所づきあいなどが希薄  
+ 独居世帯や高齢夫婦単独世帯などが増加  
→ 生活に不安を抱えながら生活する住民が増加



#### 理想の姿

- 「ご近所サポート事業」が定着しつつあり、地域全体で高齢者などを見守る機運が高まっています。
- 定期的に料理教室やスポーツ交流が開催され住民同士の交流ができています。

## ④ 未来につなげたい舟着のよさを知る

### 自然の豊かさ ～山編～

ふな つけ さん

## 船着山

全国100名山のひとつ。他県から山登りに来られる人たちもいる。

この山は「長篠の戦い」の中で奇襲隊の戦いが今でも語り継がれ、吉川から市川までの山道は舟着小6年生の卒業遠足のコースとなっている。最近では、新城ラリーのコースのひとつにもなっている。



かざ きり やま こう ぼう やま

## 風切山(弘法山)

標高356m。菅谷武辺兵衛（鳥原出身）が江戸に出て事業を成功させ、これを観音様のお蔭であるとして、嘉永5年（1852年）、立岩（始点）から常福寺（終点）までに石仏（日本主要の観音石仏190体・弘法石仏88体）を建立した。これを鳥原の弘法山と呼び、多くの信仰を得ている。中腹には見晴らし台が整備され、新城市街、清流「豊川」、雁峰連山等の景観が楽しめる。



やま

## だんご山

昭和56年に発足した鳥原愛郷会の活動で、下刈りと樹木剪定、カタクリの栽培、荒沢の滝の整備等を行い、会員の親交を深めつつ、住民の憩いの場・学習の場となっている。





#### ④ 未来につなげたい舟着のよさを知る

### 自然の豊かさ ～花編～

いち かわ さくら

## 市川の桜

市川の公民館から集落を望むと深沢川沿いに桜の花が一面に咲く。もともとあった桜に加え、地区の方が害獣などを防ぎながら地道に育てたもので、集落全体に植樹されており、季節になると多くの人を訪れる。



とり はら ひ がん ばな

## 鳥原の彼岸花

風切山麓に棚田が広がり、秋の彼岸の頃、畔や土手を彼岸花が赤い帯のように群生する。別名「曼殊沙華」とも呼ばれる。毎年多くの写真愛好家が訪れている。



### 自然の豊かさ ～その他編～

よし かわ

## 吉川のホタル

吉川を通るきれいな水の大入川に姿を見せるホタルは吉川にとって大切な生き物となっている。公民館などに「ホタルの里」と書かれた看板も設置され、ホタルの温かい光が訪れる人の心を癒している。



とり はら

## 鳥原のビオトープ

地元有志が1000㎡余りの休耕田を借り入れ、4つのビオトープ池と二面の花畑を整備しH18に開設。メダカやザリガニ等と触れ合う中で、子どもたちが楽しく過ごす場になっている。



## 誇れる歴史・伝統・文化

### なべ まん どう 鍋づる万灯

起源は不明だが、平安末期から鎌倉初期の山伏による宗教普及に感化され、村人たちが祖先の霊を供養するため行われるようになったと伝えられている。鍋のつるの形をしていることから「なべつる」万灯と呼ばれ、京都の大文字の送り火と同じく精霊送りの行事である。



### とり はら か ぶ き 鳥原歌舞伎

昭和59年から37年間、鳥原日吉神社を中心に新城文化会館、名古屋芸文、明治村などで上演してきた。

鳥原の子どもたちに一度は村芝居を経験させたいとの思いで35年間「白波五人男」を指導し子ども歌舞伎を上演させたことが誇りである。



## 地域のつながり

### えん しょう がっ こう こども園・小学校

舟着こども園では、ピオトープにお出かけして遊んだり、さつまいもの栽培を体験するなど、地域の方に温かく見守られながらのびのびと過ごせる。

舟着小学校では地域の方を学校に招き、巨峰作りを教わったり、田を借りて米作りを体験できる。子どもと地域の絆がとても強いのが魅力となっている。





## ⑤ 課題の解決方法や考え、魅力の継続維持や発展

### 10年後の舟着のために

課題解決が早期に必要なことや、未来に繋げていく魅力のための取り組み

#### 舟着地域計画4本の柱

■安全安心 ■住み良い ■心穏やか ■心体健康

Q 1 舟着はどんな地域を目指すの？

A こんな地域

- 住んでいて不安になることはありません
- 困り事はみんなで何とかしています
- 毎日楽しく過ごすことができます



Q 2 今後10年間でどんな『舟着』になるの？

A

01



「車がないと…」から  
「車がなくても…」の舟着

02



「世話する人がいなくて…」から  
「頼れるのは家族だけじゃない」  
の舟着

03



「ここで育つ子どもは幸せ」の舟着

04



「魅力」をみがき  
「魅力」を発信できる舟着

Q

# 3 10年後の舟着のために今後どんなことをやっていくの？

A

01

## 「車がないと・・・」から「車がなくても・・・」の舟着

### ■免許証を自主返納しても困らないために

- 住民の求める交通手段の検討を進め、仕組みを整備し手段を確保します
- 移動販売車、お買い物代行サービスで買い物に困らない仕組みを作ります

02

## 「世話する人がいなくて・・・」から「頼れるのは家族だけじゃない」の舟着

### ■「やらなきゃ・・・、でも、やる人がいない・・・」を解消

### ■気兼ねせずに頼める、お小遣いがやる気につながる

- 「舟着草刈隊」を組織して誰でも気軽に頼める仕組みを作ります
- 休耕農地の使い方をみんなで考えてみんなで管理運用できるようにします
- 日曜大工、ゴミ出し、お墓掃除など、「便利屋ふなつけ」を設立します
- ボランティアでは「頼みにくい」、「続けにくい」を事業化することで解決します
- お役の負担を解消する仕組みを検討します

03

## 「ここで育つ子どもは幸せ」の舟着

### ■よそで育つより、ここで育てることの魅力をもく

- 交通安全、防犯など、安心安全設備を充実させます
- 共育充実度ナンバーワン地域になります
- 新人ママさんを一人で悩ませることは絶対にしません



04

## 「魅力」を磨き「魅力」を発信できる舟着

### ■「魅力」= 幸福感、「魅力」= 武器、「魅力」= ∞

- 住みやすさ、満足度の高い「舟着暮らし」を磨き続けます
- 魅力の発信がやる気、元気につながります
- 地域の魅力をブランド化します



# 舟着コミュニティ計画



## 防犯対策

頼れるのは家族だけじゃない！



## 消防水利整備

防火水溜を整備することで  
火災に対する備えも、防火意識も向上。

## 消防団支援

団員の負担軽減。  
勸誘の支援。

## 道路河川交通安全

マップで危ないところがわかる。  
危ないところは定期的に整備。

## 獣害対策

休耕地が管理できずために  
サル・イノシシ・シカは山奥へ  
帰って行った。



## 空き家対策

空き家の利用が進む仕組みが  
事業化し、ここに住み続ける若者や移住者が増えた。

## 定住・移住支援

安心安全な地域づくりが進んだことで移住・定住者が  
増えた。空き家が活用されている。

## 住環境整備

## 居住地・地域の関わり

毎着の人はほとんど知り合い！  
ひとり暮らしでも不安は少ない。

## AEDについて

集会所にあり、メンテナンスもされている。  
講習のおかげで、みんな安心。



## 自然環境保全

公的支援を得たに間伐も進み  
農地が適切に利用されて  
太陽光発電も抑制。

## 草刈り代行

伸び放題の草はない！  
報酬がやりがい。



## 農産物販売

販売所が設置され  
出品農家の収入もアップ！



## 「お役」簡素化

必要なお役が整理され  
参加方法の見直しが行われる  
出役負担も納得できるように。

## 働く場所創出

人材センターのおかげで、自身の技能を生かして活躍する場がある。



## 茶話会の開催

## 施設整備



統廃合後、残った施設を修繕し  
快適に利用できるようになった。

### 出会いの場創出

気軽に情報共有。  
取り組んでいる事業が周知され、協力が  
増えたので、みんなが困りごとを解決でき  
るように！

### 移動販売車の充実

必要とするところに定期的に  
商品が届く。  
利用者同士の井戸端会議も  
楽しみのひとつ！

### 交通手段確保

交通制度が立ち上がり、移動手段が増えた。

### 近所のサポート

近所サポートが軌道にのり  
いつでも手助けしてもらえる

### ゴミ出し支援

集積場所が見直され  
散乱防止などの整備も。

### ボランティア活動支援

地域の人材センターができました。  
担う人と利用者がマッチングしたら  
明瞭な料金で利用しやすく  
担う人も収入のおかげでやる気や  
生きがい！

### バ'豊かな子どもの育成

小学校に知識を伸ばす本や  
想像力を高める本が充実。



だから住んでいて不安に思うことはありません。  
困りごとには自分たちで何とかかしています。  
毎日楽しく過ごすごすことができます。  
そんな舟着(未来)を見ています。

### お祭り存続 文化継承・産業支援

伝統芸能や祭りを理解し  
負担のない範囲で参加している。

### ふれあいイベント開催

スポーツだけでなくイベントや  
役立っ講座などが開催され  
意欲的に参加している。

### 交流場所・交流機会創出

定期的にいろいろな教室やスポーツ交流会  
があり、住民同士の交流ができています。

この概要版は、各戸配布しました。

舟着コミュニティ計画「絆」～セカンドシーズン～

# 舟着の今と未来

令和4年4月1日策定

舟着コミュニティ計画策定委員会